

令和6年度「サイエンスサマー（一日獣医師体験）」が開催されました

8月23日に、神奈川県畜産技術センターでは「サイエンスサマー（一日獣医師体験）」を開催し、抽選で選ばれた神奈川県内の小学生40名（午前の部20名、午後の部20名）と保護者の方にご参加いただきました。

「サイエンスサマー（一日獣医師体験）」では、座学の受講や聴診器の工作の他、牛の診察を体験していただく等、家畜との触れ合いを通じて、畜産業への理解醸成の一助となるよう努めました。

猛暑の中での開催となりましたが、参加された方からは「普段できないような血液検査や聴診器を手作りすることができて楽しかった」、「実際に牛と触れ合って体験できたところがよかった」といった感想が寄せられ、保護者の方からは「夏休みのよい経験になりました」とのコメントをいただくことができました。

○ 座学（獣医師の仕事）

獣医師の仕事や獣医師資格の取得方法などについて、説明を行いました。将来は獣医師になりたいという小学生（挙手）が数名いました。

○ 工作（簡易聴診器づくり）

聴診部（ロート、ラップ、輪ゴム）、チューブ（イヤープース部、ツナギ部）、Y字ジョイント、ワリバシ、輪ゴムを組み合わせて聴診器を組み立て、完成後は自分の心臓の音を確認しました。

○ 尿検査、血液検査

尿検査では、試験紙を牛の尿に浸して、色の変化から牛の健康状態を確認しました。尿の臭いを嗅いで、顔をしかめている参加者もいました。

血液検査では、採取した牛の血液をヘマトクリット管に入れ、遠心分離後、判定機に乗せて赤血球等の成分の割合を調べるとともに、顕微鏡で観察しました。

○ 牛の検査（視診・触診・聴診、体温・呼吸数・心拍数等の測定）

稟告（牛の様子を聞くこと）に続き、牛に実際に触れ、体温測定等の牛の検査の実演を行いました。

心拍数は製作した聴診器を使って測定しました。

○ 閉講式（修了証授与）

所長から講評を述べた後、参加者全員に修了証が授与されました。

修了証を受け取った小学生達はとてうれしそうな表情をしていました。



開講式



獣医師の仕事説明



聴診器作り



作った聴診器で心音確認



尿検査



血液検査



顕微鏡で血液観察



判定器で血液検査



触診



聴音



視診



修了証授与